



エコロジア第二太陽光 発電所だより vol.05



発行：2019年11月1日
株式会社エコロジア
<http://www.ecolosia.jp>

台風15号 千葉大停電における非常時対策の実践

千葉県袖ケ浦市永地で運転中のエコロジア第一発電所は2019年10月15日で5周年を迎えました。

発電所建設中だったちょうど5年前の10月6日には、965ヘクトパスカルの強い勢力で浜松市付近に上陸した台風18号が来襲、また3年前の台風9号は2016年8月22日、975ヘクトパスカルで館山に上陸し、木更津、袖ケ浦を縦断していきました。各地で立木や電柱が倒れたり、傾く大きな被害が出ました。

今年の台風15号は、9月9日に本州に接近してから955ヘクトパスカルに勢力を上げるなどの異常発達をし、台風の東半分に入った千葉県は北西部を除き、広域で暴風による建造物の損壊に加え、大規模で長期にわたる停電に見舞われたことで、千葉県民には忘れられることのない台風になりました。

さらに、その後も台風17号、19号、21号と連続して台風が日本列島を襲い、千葉県には台風15号ほどの直接被害はもたらさなかったものの、復興も進んでいない千葉の被災地を豪雨で悩ませました。

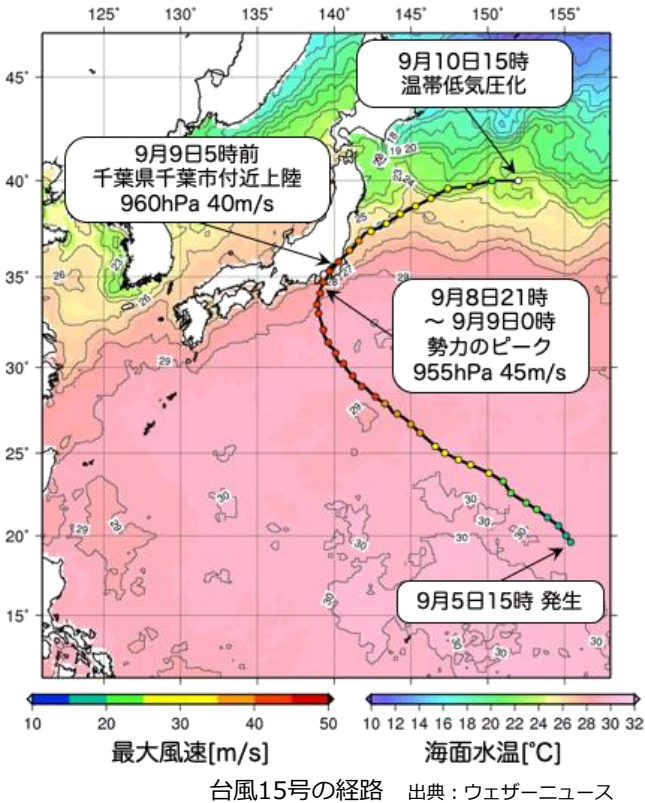
5年のうちにこれほどの強大な台風が次々と来襲し、実際にインフラを大混乱させ、停電、断水が長期に続く経験をするなどと想像していたのは誰もいなかったのではないのでしょうか。

弊社では東日本大震災の時の教訓から、発電所の20年以上もの運転期間中には何度か、こうした広域で長期の停電が発生しうることを想定し、**非常時電源設備（フェンス外側に設置した非常用コンセントボックス）**を第一発電所、第二発電所ともに備えていました。それを今回、ご近所の方々に覚えていただいて、携帯電話の充電に利用してくださいました。常時稼働しているバッテリーを使用しているため、太陽が照っていない時間でも24時間利用できる屋外コンセント（写真 左下）です。通常は使わない設備ですが、実際に使えたということで大変喜んでいただきました。弊社として口約束でなく、ちゃんと稼働し地元貢献できたことを嬉しく思います。

また停電中は、弊社事務所である**エコロジアハウス永地を地域の臨時避難所、充電所として開放**致しました。平常時の電気自動車充電用のバッテリー設備を非常用電力供給装置に切り替えることで、照明、エアコン、テレビ、冷蔵庫も使え、通常生活ができる体制でしたが、宣伝不足もあり利用者は少数にとどまりましたが、利用いただいた方にはご満足いただけたようです。

長期停電になる災害はもうたくさん、考えたくもないという思いもありますが、今後、地球温暖化・気候変動の影響が激化していく覚悟は必要です。弊社発電所のお近くの方は、上記のことをご記憶いただき、いざという時にはご利用いただければと思います。

このほかに**裏面にはご自分でできる対策**についてもまとめましたので、ぜひご覧ください。



非常用コンセントボックス
(ゲート左横フェンス)



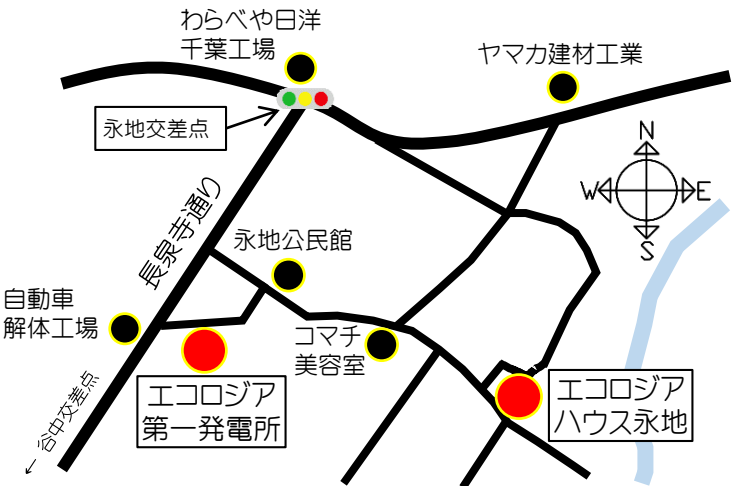
非常時電源使用中のエコロジアハウス永地

長期停電での困りごと

被災した方にとっては今更ながらですが、あらためて長時間の停電で困ったことについて声を集めますと、

- 携帯・スマホの充電ができず連絡、情報収集が不能になった
- 冷蔵庫の食材がだめになった
- 断水が発生した
- 夜間の照明が限られ、移動に困った
- オール電化のためIHやレンジ等の調理器具が使えなくなった
- 洗濯ができなかった
- お風呂に入れなくなった
- あらゆるお店が休業してしまった
- 信号機が消灯したので交差点が怖かった

等があげられます。もちろん高齢者や病氣療養中の方々にとっては空調、人工呼吸器などの医療機器が使えないという命に係わる深刻な問題となりました。



停電対策（自助と共助）

今回の台風15号で長期の停電で大変な目に遭われた方は既に今後の対策を打っていらっしゃるかと思いますが、まだ考えあぐねている方への参考情報をお伝えします。

【自助】

予算さえあれば、太陽光発電システムと蓄電池を組み合わせた製品を購入・設置すれば安心度は高まりますが、設置場所がなかったり、百万円以上というお金を簡単には出せないという方も多いでしょう。そんな方には、車のバッテリーを使って携帯電話の充電を行えるシガーソケットチャージャーは千円前後から、容量や出力によって使える電気製品の幅が広がるポータブルバッテリーは数万円から購入できますのでお勧めします。

大手オンライン通販のインターネットサイトで「ポータブルバッテリー」などのキーワードで検索すれば、各製品モデルがどの程度、何に役立つかの説明をしっかりと読んで検討できます。

ガソリンやガス等の燃料を使うエンジン式の発電機は、既にお持ちの方もいらっしゃると思いますが、騒音や排気ガスによる中毒の問題があるため屋外で運転する必要があります。そのため非常時対策目的での新規購入はあまりお勧めしません。

既に太陽光発電システムを設置している方は、確実に自立運転機能を活用してください。

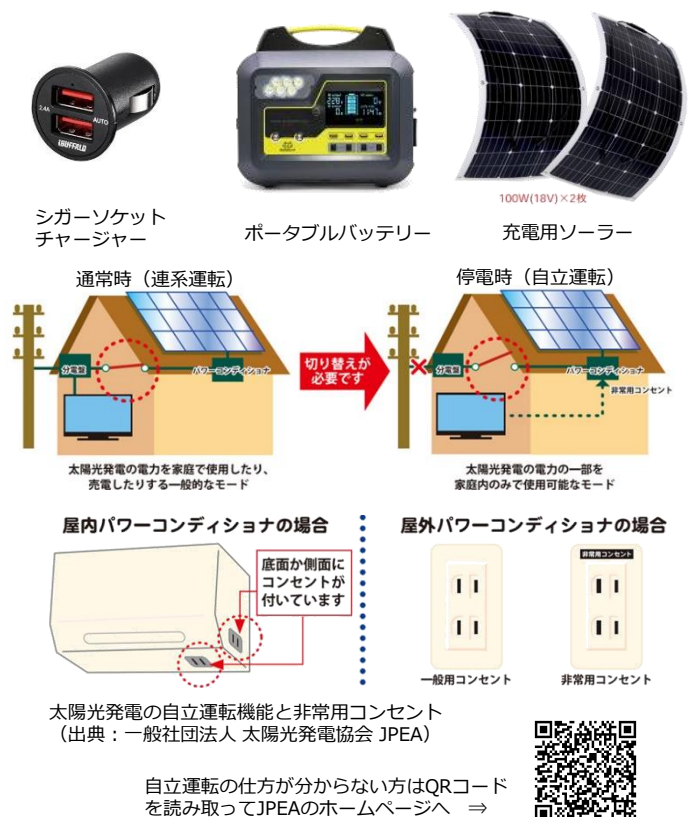
【共助】

太陽光発電システムを設置していない方にも知っておいていただきたいことは、このシステムには自立運転という機能があり、電力会社の停電時でも太陽が照っているときは自立運転（右図参照）で最大1500Wの電気が使えます。今回の台風15号における千葉県を対象にした調査では、約80%の設置者がこの機能を有効に使えたと回答しています。

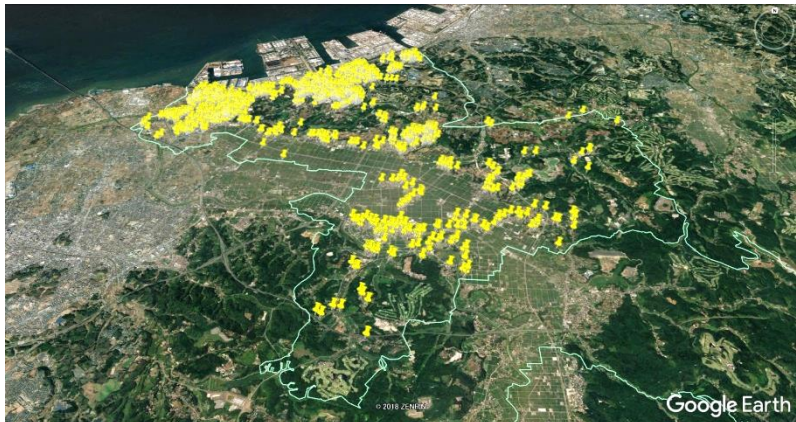
つまり、ご近所に太陽光発電システムを設置しているご家庭がある場合、停電時でも日中はそこに電源がある可能性が非常に高いわけです。長期停電の場合は、非常事態です。日頃から近所付き合いを良くしておいて、せめて携帯電話の充電程度はさせてもらう共助ができる関係を作っておきたいものです。

右下マップは袖ケ浦市の例ですが、住宅の屋根（集合住宅含む）にどれくらい太陽電池パネルが載っているか弊社が緊急に調べたものです。黄色いピンをマップに立てましたが、袖ケ浦全体で約1900ヶ所もあります。木更津市についても別途調べたいと思います。

今後、行政に働きかけて、黄色いピンのうち「非常事態の場合、うちの電気をご近所にシェアしていいよ」というご家庭を募り、非常時電源マップを作成できればいいなと構想しています。



袖ケ浦市のソーラータウン



袖ケ浦市の太陽光発電システム設置住宅の分布（約1900ヶ所）

南房総市への救援活動



大井区に持ち込んだ「電源坊やⅡ」

PV-Net台風15号PV被災調査・救援活動チームの一員として、千葉県南房総市へ行ってきました。PV-Netとは特定NPO法人太陽光発電所ネットワークのことで、住宅の屋根で太陽光発電をしている人々を中心とした全国規模の会員組織で、2012年から会員になり、弊社が太陽光発電事業を始めるにあたって大変お世話になった団体です。

東京電力が今回の大規模停電の復旧が、遅いところでは9月27日ごろになる見通しと発表しました。そんなにも長期に停電するのではおどろきというところで、東日本大震災や熊本地震でも現地調査・支援の実績があるPV-Netは何らかの救援ができるはずだというのが、今回の活動につながりました。

9月17日に出発したチームは、東京の本部から代表理事、静岡地域から2名、千葉地域から私を含めて2名の合計5名で、車2台の構成でした。支援用機材は、静岡地域メンバーが製作した小型独立電源「電源坊やⅡ」と千葉地域メンバー保有の再生鉛バッテリー4個を合わせて合計3.4kWhの大容量のバッテリーと太陽電池等です。

当日は、南房総市役所にある災害対策本部を訪れ、そこで要支援とアドバイスを受けた南房総市北部の大井区青年館へと向かいました。移動中に連絡していた区長の芳賀さんとはすぐに会え、自然エネルギーを利用した対策を学びたかったとおっしゃり、我々の来訪を大変歓迎してくださいました。到着後、無事に組み立てが終わった様子が左の写真です。多数の携帯電話の充電、扇風機、照明への電気の供給ができたとともに、その場にいた高校生たちに仕組みの説明会ができたことも大きな収穫でした。

アル・ゴア氏直伝の気候変動研修に参加



会場にて同じテーブルの仲間と修了書を手にして

10月2日、3日の2日間、東京・お台場のホテル、グランドニッコー東京にて、第43回 クライメート・リアリティ・リーダーシップ・コミュニティ・トレーニングが開催され、参加してきました。

この研修は、世界的な問題である地球温暖化、気候変動の問題を世界に訴え、2007年ノーベル平和賞を受賞したアメリカ合衆国元副大統領、アル・ゴア氏が立ち上げた"The Climate Reality Project"のプログラムの一環です。

アル・ゴア氏が来日し、環境問題に取り組む国内外のリーダー達総勢800名以上が一同に集う大がかりなイベントでした。43回目にして初めての日本でトレーニングでしたが、国外ではすでに150カ国、2万人ものトレーニング修了者がいます。気候危機について職場や地域の仲間を啓発し、時代遅れの政策を変えるため無償で活動することを期待されています。

弊社としても、身近なコミュニティでできるだけ機会を作り活動していきたいと考えています。

詳しいレポートはQRコード経由でホームページへ→



卒FIT直前情報

FITとは、太陽光発電普及の目的で、住宅用太陽光発電の余剰電気を国民負担のもと、10年間固定の優遇価格で買い上げるとい、法律に基づく制度のことで、開始後10年経過し、買上げが終了することを卒FITと呼んでいます。住宅用太陽光発電は先行して2009年11月にこの制度が始まっていたから先発組は本年11月分で卒FITを迎えます。電力会社は、法定価格での買取義務がなくなりますので、新条件で買取を続けるのも、やめるのも自由。また従来の電力会社以外の会社が買取っても構いません。

こうした事業者の取引条件がほぼ揃いましたが、ここではとても書ききれません。

対象になる方でご興味があれば、弊社のホームページに詳しく解説しましたので、右のQRコードを読み取ってリンク先をご覧ください。

